

所 属・職 位	医学部医学科臨床薬理学講座・教授	
氏 名	上村 尚人 (Uemura Naoto)	
取 得 学 位	博士 (医学)、大分医科大学、1999年3月	
SDGs 目標		

研 究 分 野	臨床薬理学、薬物治療学、早期探索的臨床開発	
研究キーワード	早期探索的臨床試験、ヒト初回投与試験、POC試験、臨床分子イメージング、合理的薬物治療、薬物動態、薬力学、	
研 究 内 容	大分大学医学部臨床薬理学講座では、現代医学では有効な治療方法のない難病を中心に、新しい治療方法の研究開発に取り組んでいる。 講座の関連施設である附属病院臨床薬理センターは我が国を代表する臨床薬理専門施設であり、附属病院に整備されたクリニカルトライアルユニット（臨床試験専用病床）を活用し人を対象とした早期探索的臨床試験を積極的に行なっている。特に、新規医薬品や新しいワクチンなどを人に初めて投与する“ヒト初回投与試験”や、治療概念を確立するための臨床試験としての“POC試験”を数多く実施しており、先端分子イメージングセンターにおいては、新規のPET (Positron Emission Tomography)トレーサーを用いた新薬開発を進めている。 これまでに取り組んできたテーマとしては、血管奇形（低分子）、難治性皮膚炎症疾患（低分子）、COVID-19（治療薬）、COVID-19（ワクチン）、新規経口抗真菌薬の開発（低分子）、中性脂肪蓄積心筋血管症の治療薬（中分子）、抗がん剤（肺がん治療薬）の新規製剤開発、中枢作動薬としての抗搔痒薬（低分子）、新規肺線維症の新規（中分子）、乳がん骨転移抑制薬（低分子）、線維筋痛症の治療薬（低分子）、上気道炎ウイルス感染症治療薬（抗体）、NASH（核内受容体作動薬 低分子）、NASH（抗炎症 低分子化合物1）、NASH（抗炎症 低分子化合物2）、進行性骨化性線維異形成症、アルツハイマー病新規PET トレーサー（低分子1）、アルツハイマー病新規PET トレーサー（低分子2）骨代謝診断用新規PET トレーサー、狂犬病（低分子）、ヒト トリパノソーマ症（低分子）、アルコールや違法薬物の体内動態研究、などがある。	
研 究 業 績・アピールポイント	Cumulative seroprevalence among healthcare workers after the first wave of the COVID-19 pandemic in El Salvador, Central America. Nakagama Y, Rodriguez-Funes MV, Dominguez R, Candray-Medina KS, Uemura N, Tshibangu-Kabamba E, Nitahara Y, Kaku N, Kaneko A, Kido Y. Clin Microbiol Infect. 2022 Jun (in press) A phase I study to evaluate safety, pharmacokinetics, and pharmacodynamics of respiratory syncytial virus neutralizing monoclonal antibody MK-1654 in healthy Japanese adults. Orito Y, Otani N, Matsumoto Y, Fujimoto K, Oshima N, Maas BM, Caro L, Aliprantis AO, Cox KS, Tokumaru O, Kodama M, Kudo H, Imai H, Uemura N. Clin Transl Sci. 2022 May 3 (in press) A phase I study of high dose camostat mesylate in healthy adults provides a rationale to repurpose the TMPRSS2 inhibitor for the treatment of COVID-19. Kitagawa J, Arai H, Iida H, Mukai J, Furukawa K, Ohtsu S, Nakade S, Hikima T, Haranaka M, Uemura N. Clin Transl Sci. 2021 Sep;14(5):1967-1976	